

▲ 安全に作業するために

必ず読んでください

目次

困ったときには

安全

サービスと保証 小特の取扱い

運転のしかた

作業のしかた

安全キャブ 装備品の取扱い

トラクタの簡単 な手入れと処置

付 表

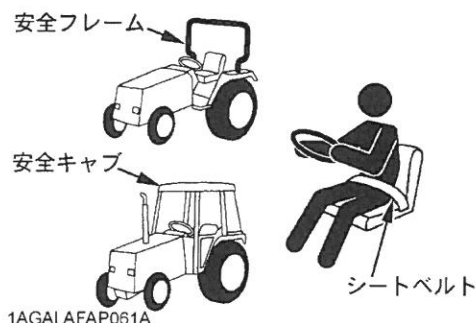
索 引

本機をご使用になる前に、必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で、安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも、本文の中で**▲危険**・**▲警告**・**▲注意**・**重要**・**補足**としてそのつど取上げています。

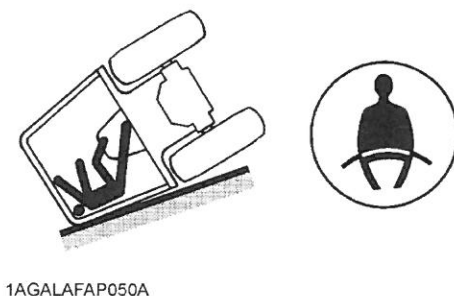
安全キャブ、安全フレームについて

安全キャブ、安全フレームは、万トラクタが転倒したとき事故の被害を軽減するものであって、転倒事故を防止するものではありません。

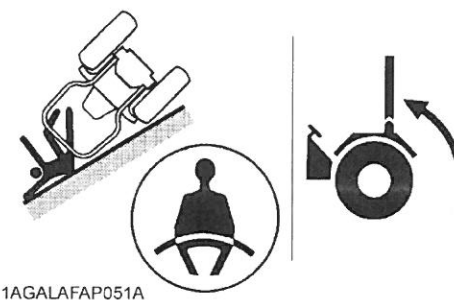
注意事項を守って、安全運転を心がけてください。



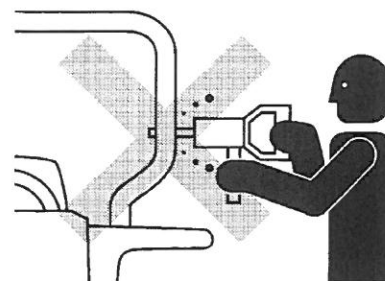
1. 運転時は安全キャブ又は安全フレームとシートベルトを常に使用するようにしてください。



2. 安全フレームを取外して運転しないでください。
3. 納屋への出入り等、安全フレームが当たる場合を除き、運転時はいつも安全フレームを立て、確実にロックして使ってください。
安全フレームを折りたたんだ状態では、万トラクタが転倒したとき、安全フレームの役目をしません。
4. 安全フレームを立てたときは、運転時シートベルトを常に使用してください。折りたたんだ状態では、シートベルトを使用しないでください。
5. 安全フレームを折りたたんだり、立てたりするときは、平坦な場所で、必ず作業機を地面に降ろし、エンジンを停止し、駐車ブレーキをかけてから行なってください。



- 安全キャブ又は安全フレームを改造しないでください。又、強度に影響する破損、曲がりなどが発生した場合、交換してください。



1AGALAFAP034B

運転前に

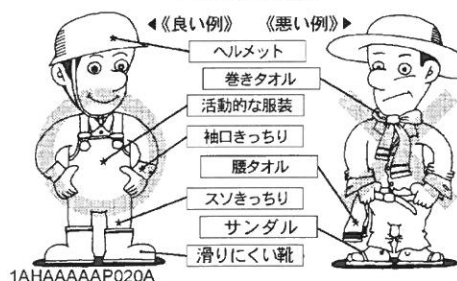
- トラクタを動かす前に、トラクタ及び装着している作業機の取扱説明書と機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み、理解した上で運転してください。
- トラクタ、作業機を他人に貸すとき、又、運転させるときは、事前に運転のしかたを教え、本書を読ませてください。
- 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対運転させないでください。
- 飲酒時や体調が悪いとき、病気や妊娠しているときは、トラクタを運転しないでください。



1AGALAFAP035A

- ダブダブの衣服やかさばった衣服を着用しないでください。
回転部分や操縦装置にひっかかり事故の原因になります。
安全のため、ヘルメット、滑りにくい靴を着用し、必要に応じて安全靴、保護めがねや手袋などを使ってください。
- トラクタを改造しないでください。改造すると、トラクタの機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながります。
- 安全カバー類を外した状態でトラクタ、作業機を使用しないでください。
紛失したり損傷した部品は交換してください。
ブレーキ、クラッチ、ステアリングや安全装置などの日常点検を行ない摩耗や損傷している部品があれば、交換してください。
又、定期的にボルトやナットがゆるんでいないか点検してください。（詳細は【トラクタの簡単な手入れと処置】の章参照）
- トラクタは常に清掃しておいてください。
バッテリー、配線、マフラやエンジン周辺部にゴミや燃料の付着などがあると火災の原因になります。

作業時の服装



1AHAAAAAP020A

始動時に

1. エンジンを始動する前に、必ずシートに座り、シャトルレバー・PTO 変速レバーが【中立】かどうか、又、駐車ブレーキが掛かっているかを確認してください。
2. 地上に立ってエンジンを始動したり、スタータ端子や安全スイッチを直結してエンジンを始動しないでください。
トラクタが突然動き出すおそれがあります。



1AGALAFAP058B

3. トラクタを始動、運転するときは前後左右をよく確認し、付近に人（特に子供）を近づけないでください。もし変速ギヤーが入っていると車体が動いたりロータリが回転したりして事故になるおそれがあります。又、安全キャブや安全フレームに当たる障害物がないかも確認してください。



1AGALAFAP036C

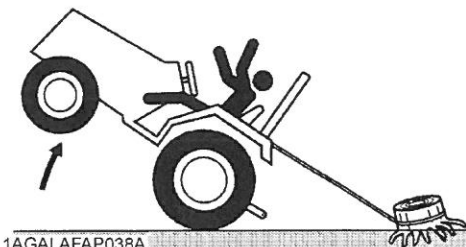
運転時に

1. 子供はもちろん運転者以外の人を乗せてトラクタを運転しないでください。
又、必ずシートに座って運転してください。



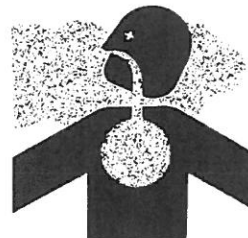
1AGALAFAP037A

2. けん引作業には、けん引ヒッチ（別売）を用い、絶対に車軸やトップリンクブラケットなどで引張らないでください。
トラクタの破損や転覆の原因となります。



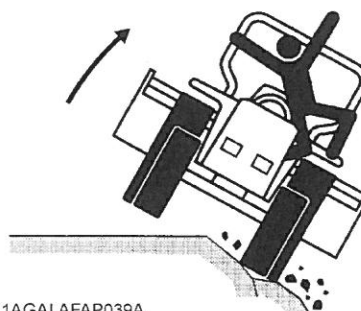
1AGALAFAP038A

3. 換気が不十分な所では、暖機運転や作業はしないでください。
排気ガスにより一酸化炭素中毒のおそれがあります。



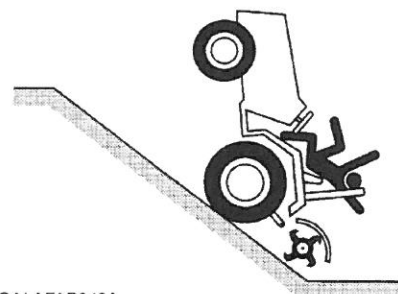
1AGALAFAP052A

4. 溝や穴の近く、路肩などトラクタの重みでくずれやすい所では運転しないでください。
また、草の繁ったところや水たまりなどには、隠れて見えない窪地がある場合があります、トラクタが落ち込むと転倒することがあります。そういう所は必ずトラクタから降りて確認してください。



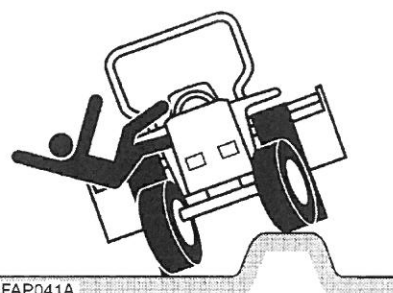
1AGALAFAP039A

5. 溝やぬかるんだ所から前進で脱出したり、急な坂を前進で登るとトラクタが後方に転覆する危険があります。このような所では、バックで運転してください。
6. 共同で作業をするときは、声をかけあって、お互いにしようとしていることを知らせてください。



1AGALAFAP040A

7. ほ場の出入りなどで、急傾斜の上り降りや溝越えは、低速にして直角に進行してください。その際、必ず連結解除ペダルロックレバーを【ロック】位置にするとともに、デフロックの解除を確認してください。

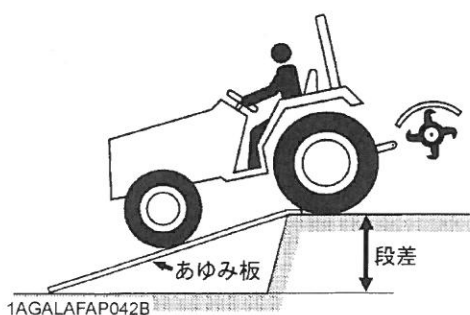


1AGALAFAP041A

8. ほ場外では、落下速度調整グリップで油圧ロック（停止）をして作業機の落下を防止してください。
【遅い】 方向に締めきるとロック（停止）します。



9. ほ場の出入りなどで、高低差の大きい急傾斜の登り降りや、溝越えが必要な場合、あゆみ板を使用し、確実に固定してから低速で行なってください。
 あゆみ板は段差の4倍以上の長さのものを使用してください。
10. 急な坂道・車両への積込み積降ろし・ほ場への出入り・畦の乗越えなどでは途中で変速すると危険ですので、あらかじめ安全な遅い変速位置に入れて運転してください。

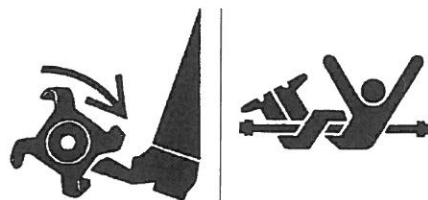


11. ほ場以外や高速走行時、倍速ターン及びAD倍速ターンを使用すると、旋回時急に回り事故を引起こすおそれがあります。
 必ずAD倍速を**【切】**にしてください。



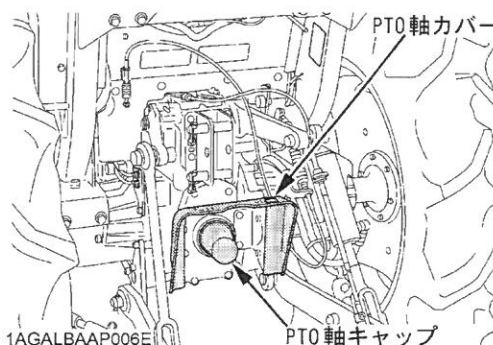
作業機使用時に

1. 作業機の着脱は、平坦で安全な場所で行なってください。
2. トラクタから降りるときや、ロータリなど PTO 作業機の装着・取外し・調整・掃除又は修理をするときは、作業機が完全に止まるまで待ってください。



1AGALAFAP054A

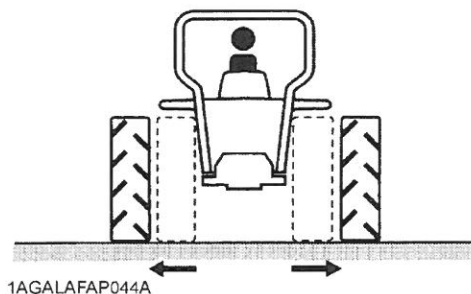
3. PTO を使用しないときは、PTO 軸キャップを装着しておいてください。
4. PTO 軸カバーは常に取付けておいてください。
5. PTO 作業機は、その作業機で定められた PTO 回転以上で使用しないでください。
機械の破損や人身事故のおそれがあります。



6. トラクタ後部用作業機を装着したとき、かじ取り車輪（前輪）にかかる荷重が総重量の 20% 以上になるようにバランスウエイトを装備し、使用してください。
前部が軽くなりすぎると、操縦が難しくなり転倒事故のおそれもあります。
7. 作業機はトラクタに推奨されているものを使用してください。
大きすぎたり、小さすぎたりしてバランスの悪い作業機は機械の破損や人身事故にもつながります。
詳細は購入先にご相談ください。

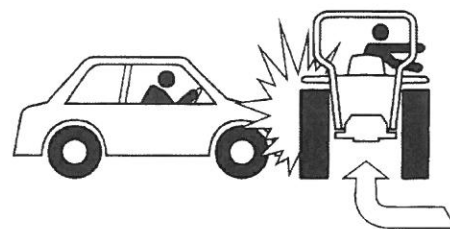


8. 傾斜地作業、フロントローダ作業などでは、安定を良くするために、支障のない範囲で輪距（タイヤ中心間の距離）を大きくしてください。

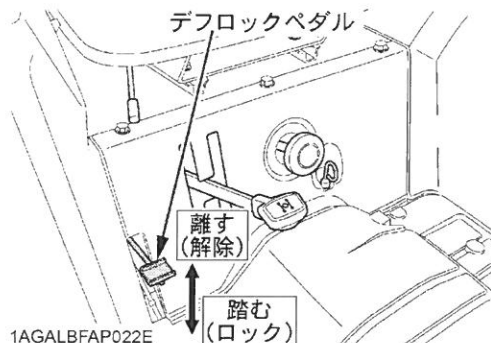


道路走行時に

1. 道路走行時は、連結解除ペダルロックレバーを【下げ】、連結解除ペダルが踏めないことを確認してください。
高速走行で誤って片ブレーキをかけるとトラクタが振られ、転倒や交通事故のおそれがあります。
2. 信号待ちなどの一時停止時はブレーキペダルを踏んだままにしてください。



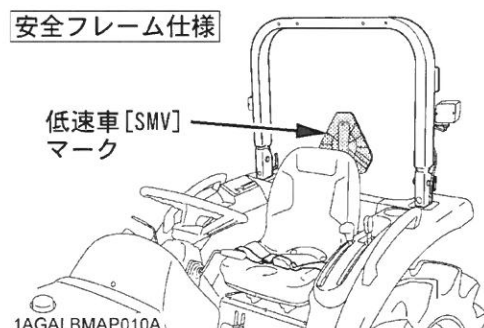
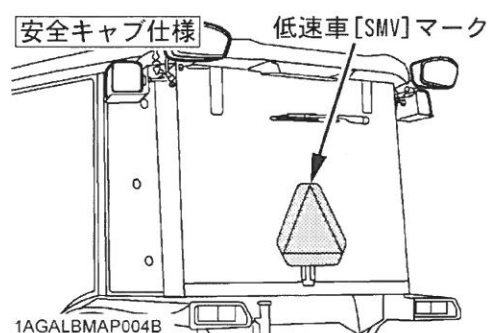
3. 道路走行時は絶対にデフロックを使用しないでください。
ハンドル操作が出来なくなります。
4. 旋回する前にはトラクタの速度を落としてください。
高速で旋回するとトラクタが転倒するおそれがあります。



5. 坂を降りるとき、クラッチを切ったり、変速を【中立】にして惰性で走行しないでください。
操縦ができなくなるおそれがあります。
6. トラクタは作業機を装着して公道を走行できません。
(道路運送車両法の保安基準)
作業機を装着して走行すると、他の車や電柱などに引っかけて事故の原因になります。
7. 交通や安全規則を守ってください。
運転免許証は、必ず携帯してください。



8. 公道走行時は後続車に低速農耕車が走行している事を知らせる**低速車【SMV】マーク**を取付けてください。
また、夜間ヘッドライトに**低速車【SMV】マーク**がよく反射するように、マークは常に清掃しておいてください。



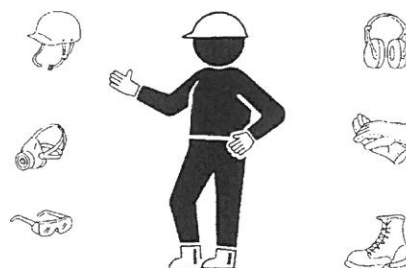
駐車，格納時に

1. 駐車するときは、平坦でトラクタが安定する場所を選び、PTO を【切】、作業機を【下げ】、各変速レバーを【中立】、駐車ブレーキを【掛け】、エンジンを【停止】してキーを【抜いて】ください。
やむをえず坂道で駐車する場合は、タイヤに車止めをしてください。
2. 乾いた草やワラなど可燃物の堆積した場所には、駐車しないでください。
3. 格納などでトラクタにシートをかける場合は、マフラやエンジンがじゅうぶん冷えてから行なってください。



点検・給油・整備時に

1. 点検整備には帽子と安全な服装を着用してください。
作業内容によってはヘルメット、安全靴、保護めがね、
防塵マスク、防音具、保護手袋などの保護具を着用し
てください。
各保護具は使用前に機能を確認してください。



1AGADAPAP122A

2. 平たんな場所に駐車し、作業機を【下げ】、駐車ブレーキを【掛け】、各変速レバーを【中立】にし、そしてエンジンを【停止】してください。
3. エンジン・マフラ・ラジエータなどがじゅうぶん冷えてから点検整備してください。ヤケドのおそれがあります。



1AGALAFAP055A

4. 燃料を補給するときやバッテリーを充電しているときは、タバコを吸ったり、火を近づけないでください。
バッテリーは充電中可燃性ガスが発生し、引火爆発のおそれがあります。
5. 放電したバッテリーにブースタケーブルなどを接続して始動するときは、取扱方法をよく読みそれに従ってください。

（【運転のしかた】の章の【バッテリーあがりの処置】の項を参照）



1AGALAFAP048A

6. バッテリーは液面が LOWER（最低液面線）以下になったままで使用や充電をしないでください。
LOWER 以下で使用を続けると電池内部の部位の劣化が促進され、バッテリーの寿命を縮めるばかりでなく、爆発の原因となることがあります。
すぐに UPPER LEVEL（上限）と LOWER LEVEL（下限）の間に補水してください。（開放型バッテリー）
7. バッテリーを外すときは、短絡事故を防ぐため、最初にバッテリーのマイナスコードを外し、接続するときは最後に接続してください。
8. バッテリー液は希硫酸なので扱いには注意し、体や衣服に付けないようにしてください。もし目や体に付着した場合はすぐ水で洗って、すみやかに医師の診療を受けてください。



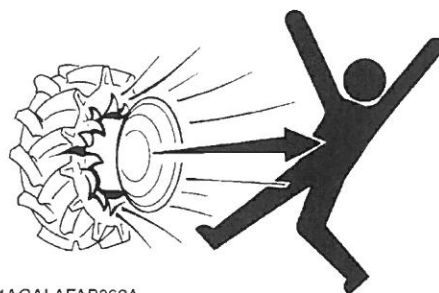
1ARAEABAP014B

9. 3点リンク作業機を上げた状態で点検整備を行なう場合、必ず落下速度調整グリップで作業機が落下しないようにロック（停止）してください。ロック（停止）するとともに適切なジャッキ又はブロックで歯止めをし、落下防止を行なってください。



1AGALAFAP057A

10. タイヤの空気圧は、取扱説明書に記載している規定圧力を必ず守ってください。
空気の入過ぎは、タイヤ破裂のおそれがあり死傷事故を引起す原因になります。
11. タイヤに傷があり、その傷がコード（糸）に達している場合は、使用しないでください。
タイヤ破裂のおそれがあります。
12. タイヤ・チューブ・リムなどの交換・修理は、必ず購入先にご相談ください。
(特別教育を受けた人が行なうように、法で決められています。)



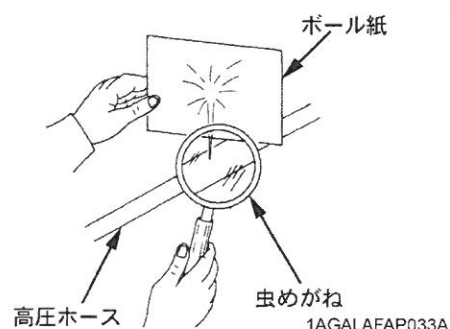
1AGALAFAP062A

13. 圧力がかかり噴出した油は、皮膚を貫通する程の力があり、傷害の原因になります。油圧部品を外すときは、必ず残圧を抜いてください。



1BAACAAAP010D

14. 見えない小さな穴からの油漏れを探すときは、保護めがねをかけ、ボール紙などを利用してください。
万一、油が皮膚を貫通したときは、強度のアレルギーを起こすおそれがあるので、すぐ医師の診療を受けてください。



1AGALAFAP033A

15. 廃棄物をみだりに捨てたり、焼却すると、環境汚染につながり、法令により処罰されることがあります。

- * 機械から廃液を抜く場合は、容器に受けてください。
- * 地面へのたれ流しや河川、湖沼、海洋への投棄はしないでください。
- * 廃油、燃料、冷却水（不凍液）、冷媒、溶剤、フィルタ、バッテリー、ゴム類、その他の有害物を廃棄、又は焼却するときは、購入先、又は産業廃棄物処理業者等に相談して、所定の規則に従って処理してください。



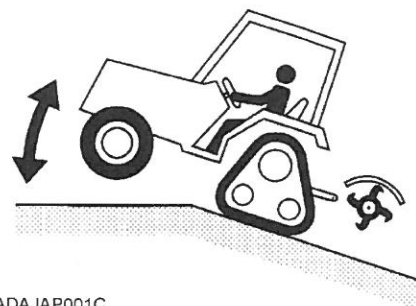
1BJABAAAP018D

パワクロ仕様の場合

以下の内容は【パワクロ仕様】の場合の特別な注意事項を記載しています。前述の注意事項と合わせてよく読み理解した上で、安全な作業をしてください。

■運転時に

1. 凹凸やカーブの多い所では絶対に高速走行をしないでください。ハンドル操作ができなくなるおそれがあります。
2. クローラ部が凸部を乗越えるときは、急に姿勢が変わりますのでじゅうぶん注意してください。



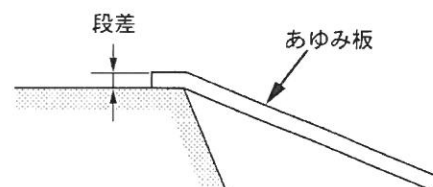
1AGADAJAP001C

■ あゆみ板使用時に

1. あゆみ板は左右の先端をそろえ、前後にずれないように確実に固定してください。
2. あゆみ板とあゆみ板をかけた面との段差が大きい場合、運転には特に注意してください。
3. 途中で変速すると危険ですので、あらかじめ安全な遅い変速位置に入れて低速で運転してください。
4. あゆみ板は、十分な強度・幅・長さ（傾斜が 15 度以下になる長さ：トラックの荷台高さ、あるいはほ場乗入れ部高さの 4 倍以上）のあるすべり止め及び爪付きのものを使用し、パワクロの重量であゆみ板が傾いたりしない場所を選んでください。

◆ ほ場への出入り

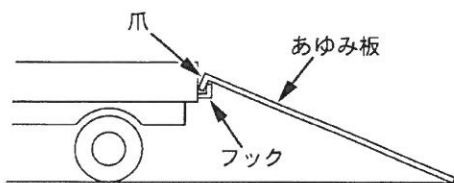
1. クローラの片側だけが段差に引っかかり乗りあがらない状態になった場合、いったん車両を元に戻し、あゆみ板をかけ直してはじめてからやり直してください。



1AGACBUAP002B

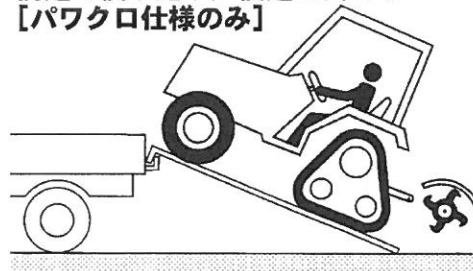
◆ トラックへの積み・降ろし

1. トラックは荷台後部にあゆみ板の爪をかけるフックが付いた物を使用してください。
2. トラックへの積み・降ろしは、必ず左右のブレーキペダルを**【連結】**し、**前進で積み込み、後進で降ろす**ください。前進で降りると、クローラがあゆみ板の段差ですべり、前輪が浮いて車体が旋回し、転倒事故につながるおそれがあります。



1AGACBUAP003B

**前進で積み込み、後進で降ろす
【パワクロ仕様のみ】**



1AGACBUAP004C

表示ラベルと貼付け位置

(1) 品番 T2560-4945-0 [安全フレーム仕様]

警告

警告

傷害事故防止のため、取扱説明書を読み理解して正しい取扱いをしてください

始動時

- ・シートにすわり、PTO及び各変速レバーを中立にすること
- ・前後左右に人がいないことを確認すること

運転時

- ・運転者以外に人を乗せないこと
- ・換気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあるので換気の不十分な所で使用しないこと
- ・溝や穴のちかく、路肩など重みでくずれやすい所では運転しないこと
- ・道路走行時はデフロックを使用しないこと

運転時

- ・急な坂道、積込み積降ろし、圃場の出入り、畦の乗越え等では遅い車速で運転し、途中で変速しないこと
- ・道路走行時は低車速マークを装着する
- ・道路走行は道路運送車両の保安基準に適合すること（詳細は取扱説明書を参照）

駐車時

- ・PTO及び各変速レバーを中立にし、作業機を地面に降ろし、駐車ブレーキを掛け、エンジンをとめること

点検、整備時

- ・エンジンをとめ、機械の各部が停止してから行うこと
- ・3点リンク作業機持ち上げ時は油圧ロックをすること

1AGALBMAP060J

(2) 品番 6A100-4755-0 [安全フレーム仕様]

警告

転倒、転落による死傷事故軽減のために：

- 納屋の出入りなど安全フレームが当たる場合を除き、運転時は安全フレームを立て、確実にロックして使用すること。
- 安全フレームを立てたとき、必ずシートベルトを着用すること。
- 安全フレームを折った状態では、シートベルトを着用しないこと。

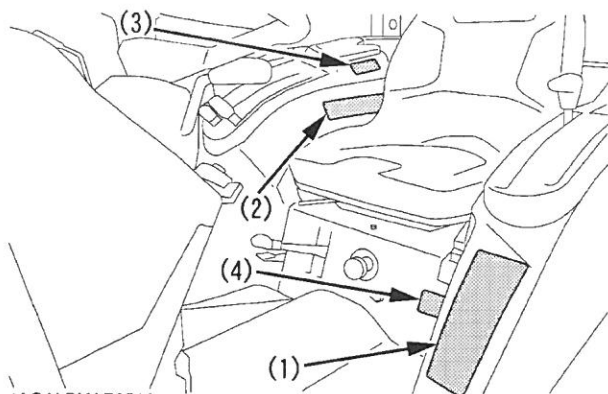
1AGALBAAP119J

(3) 品番 T1060-4905-0

警告

転倒による死傷事故を防ぐために、圃場以外では倍速、A0倍速を使用しないこと。

1AGALBAAP126J



1AGALBMAP051A

(4) 品番 T2560-9821-0 [パワクロ仕様を除く]

警告

点検・整備時に、後輪だけを地面から浮かせた状態にしてエンジンを始動させないで下さい。

常時前後輪を連結する構造になっている為、前輪が回転しトラクタが動き出す恐れがあります。

1AGALBMAP061J

(4) 品番 T2564-9821-0 [パワクロ仕様のみ]

警告

点検・整備時に、後輪だけを地面から浮かせた状態にしてエンジンを始動させないで下さい。

4輪駆動時は前後輪を連結する構造になっている為、前輪が回転しトラクタが動き出す恐れがあります。

1AGBBADAP0780

⚠ 安全に作業するために

必ず読んでください

(1) 品番 T4360-4955-0

警告

指を切傷するのでファン、ベルトに触れないこと。

警告

サイドカバーを外したまま使用すると傷害の恐れがあるので、取付けて使用すること。

1AGBBAAAP016J

(2) 品番 T4360-4958-2

警告

ヤケドをするのでマフラー、エンジン及びエンジン周辺が高温のときは触れないこと

1AGBBAAAP015J

(3) 品番 3Y200-4954-0

警告

火傷の恐れがあるのでエンジン停止直後にラジエータキャップを開けないこと。(30分おくこと)

1AGADAUAP070A

(5) 品番 T0180-4965-2

警告

トラクタが突然動きだす恐れがあるため：

- 地上に立って、エンジンを始動しないこと
- 安全スイッチ回路を直結しないこと
- スタータを直結してエンジンを始動しないこと

1AGADALAP249J

(4) 品番 T2050-5542-0

火気禁止 メガネ着用 こども禁止 硫酸注意 説明書熟読 爆発注意

ハイドロメーターの見方

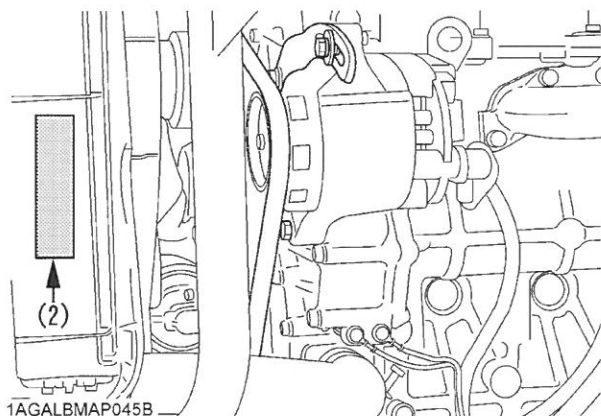
良好 警告線 満点線

使用済バッテリーは再生資源として利用(リサイクル)されます。

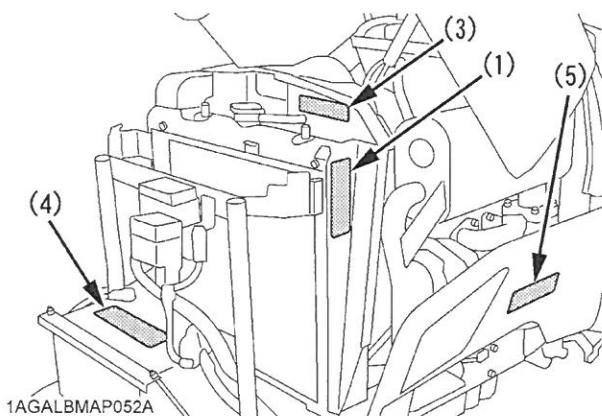
危険

- バッテリーは水素ガスの発生があり、取扱いを誤ると引火爆発のおそれがあります。
- この12Vバッテリーはエンジン始動用です。他の用途には使用しないでください。
- 充電は風通しのよいところで、ショートやスパークをさせないでください。
- ブースターケーブルの使用は車両またはバッテリーの取扱説明書をお読みください。バッテリー液(希硫酸)で失明ややけどをすることがあります。目、皮膚、衣服、物についたときはすぐに多量の水で洗い、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。目に入ったときや飲み込んだときは医師の治療を受けてください。
- バッテリー液注入済(横倒し厳禁・液漏れ注意)
- 充電時火気厳禁 ●急速充電厳禁 ●開封厳禁(密封タイプ)

1AGALBAAP125J



1AGALBMAP045B



1AGALBMAP052A

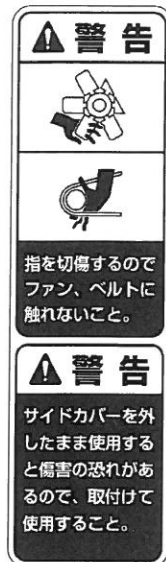
安全に作業するために

必ず読んでください

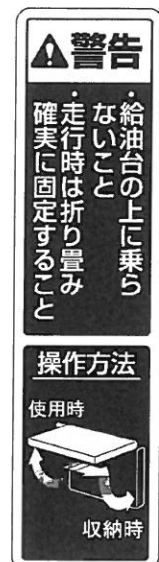
(1) 品番 T4360-4955-0

(2) 品番 6E200-5466-0

(3) 品番 T4360-4908-0



1AGBBAAAP016J



1AGAZAAP028A

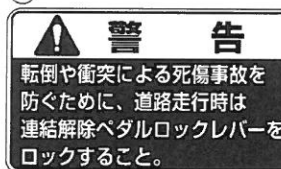


1AGBBAAAP017J

(4) 品番 T2560-4961-0 [MAなし仕様] ①のみ

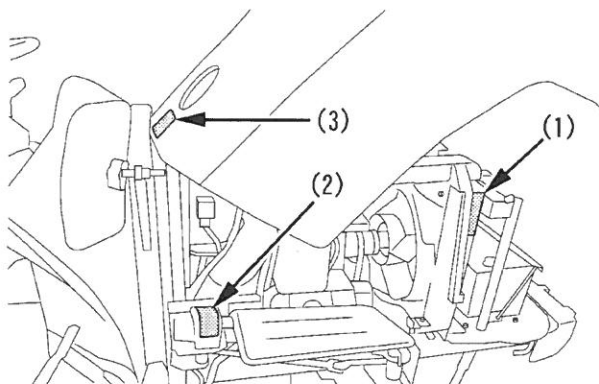
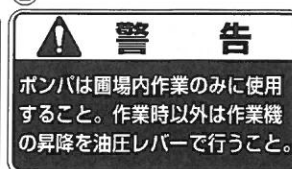
(4) 品番 T2561-4961-0 [MA仕様] ①, ②

①

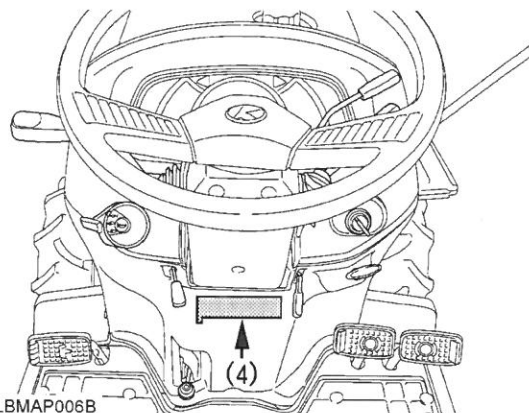


1AGALBMAP062J

②



1AGALBMAP053A



1AGALBMAP006B

目次

困ったときには

安全

サービスと保証
小特の取扱い

運転のしかた

作業のしかた

安全キャブ
装備品の取扱い

トラクタの簡単
手入れと処置

付表

索引

(1) 品番 T2560-4927-0
[安全フレーム仕様]

⚠ 警告

安全フレームを折りたたんだり、立てたりする時は、下記の手順を守ること。

1. エンジンを止める
2. 作業機をおろす
3. 駐車ブレーキをかける

レバーの操作方法

- ・安全フレームを折りたたむ時は
④⑤の順にレバーを倒して下さい。
(左右とも内側へ)
- ・立てる時は
③④の順にレバーを操作し、レバーを確実に前方へ押し込んで下さい。
- ・詳しくは取扱説明書をよくお読み下さい

(2) 品番 T1060-4959-0

⚠ 警告

巻込まれによる死傷事故を防ぐために

- ・PTO軸回転中は近づかないこと
- ・PTO軸を使用しないときはPTO軸キャップを装着すること

1AGALBAAP128J

(4) 品番 T1060-4904-0

⚠ 警告

転倒による死傷事故を防ぐために、けん引は、けん引ヒッチを使用し、車軸やトップリンクフラケット等で行わないこと

1AGALBAAP129J

(3) 品番 T4360-4968-0

⚠ 警告

- ・PTO軸カバーを取りはずさないこと。
- ・PTO軸カバーの上に乗らないこと。

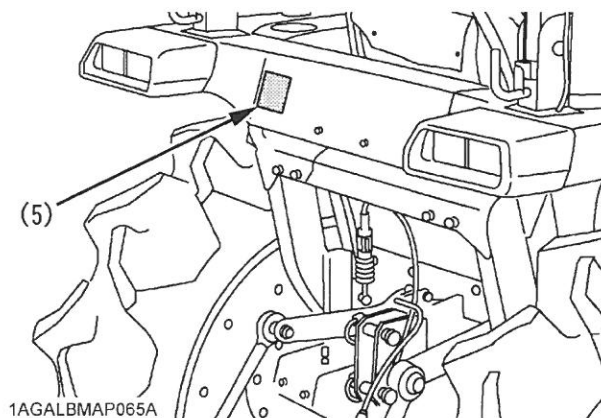
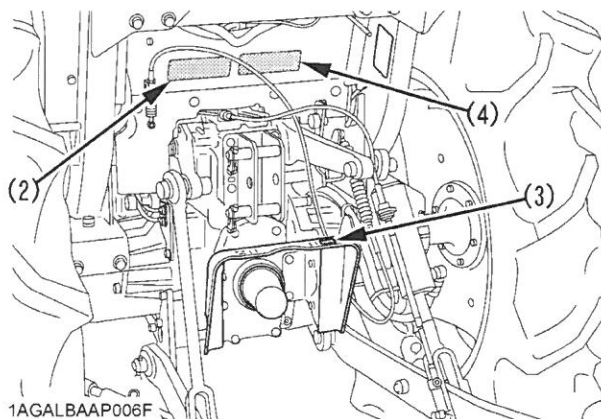
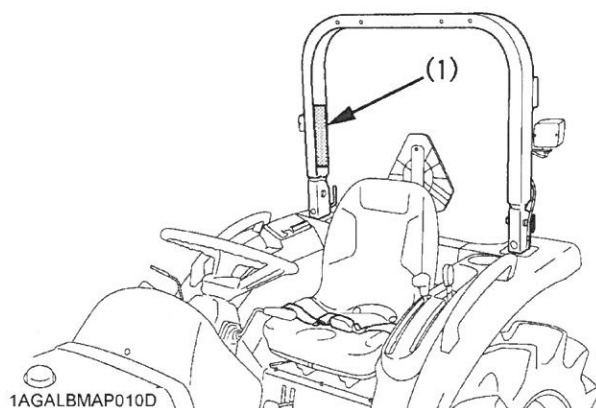
1AGBBAAAP025J

(5) 品番 T4365-8992-0
[安全フレーム仕様]

⚠ 警告

低速車マークをはしたまま公道を走行すると、追突されるおそれがあります
公道走行時は低速車マークを取り付けること

1AGBBAAAP026J



(1) 品番 T2565-4902-0
[安全キャブ仕様]

(2) 品番 T4365-8992-0
[安全キャブ仕様]

⚠ 警告

傷害事故防止のため、取扱説明書を読み理解して正しい取扱いをしてください

始動時

- ・シートにすわり、PTO及び各変速レバーを中立にすること
- ・前後左右に人がいないことを確認すること

運転時

- ・運転者以外に人を乗せないこと
- ・排気ガスによる一酸化炭素中毒の恐れがあるので換気の不十分な所で使用しないこと
- ・溝や穴のちかく、路肩など重みでくずれやすい所では運転しないこと
- ・急な坂道、積込み積降ろし、圃場の出入り、畦の乗越え等では遅い車速で運転し、途中で変速しないこと
- ・道路走行時はデフロックを使用しないこと
- ・道路走行時は低速車マークを装着すること
- ・道路走行は道路運送車両の保安基準に適合すること（詳細は取扱説明書を参照）

駐車時

- ・PTO及び各変速レバーを中立にし、作業機を地面に降ろし、駐車ブレーキを掛けエンジンをとめること

点検、整備時

- ・エンジンをとめ、機械の各部が停止してから行うこと
- ・3点リンクで作業機持ち上げ時は油圧ロックをすること

⚠ 警告



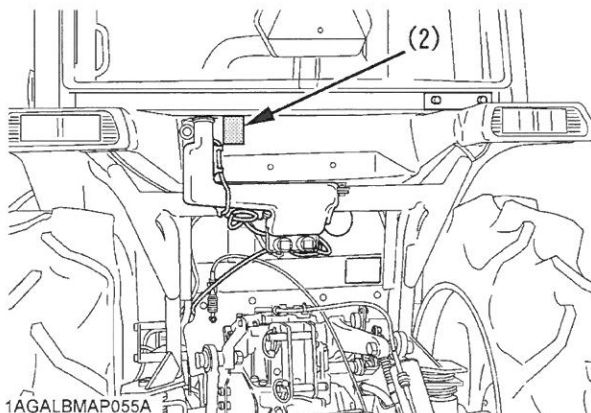
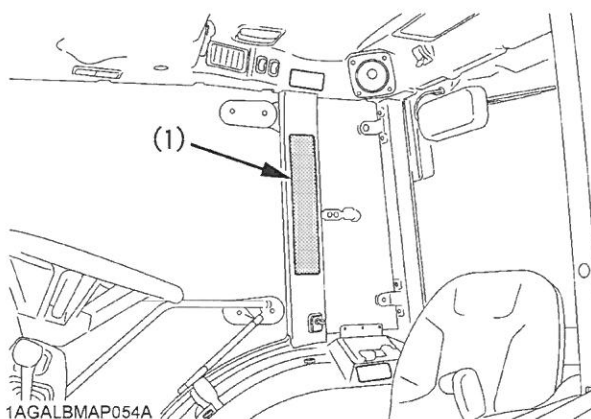
転倒、転落による死傷事故軽減のために、運転時は必ずシートベルトを着用すること

1AGALBMAP064J

⚠ 警告

低速車マークをはずしたまま公道を走行すると、追突されるおそれがあります
公道走行時は低速車マークを取り付けること

1AGBBAAAP026J



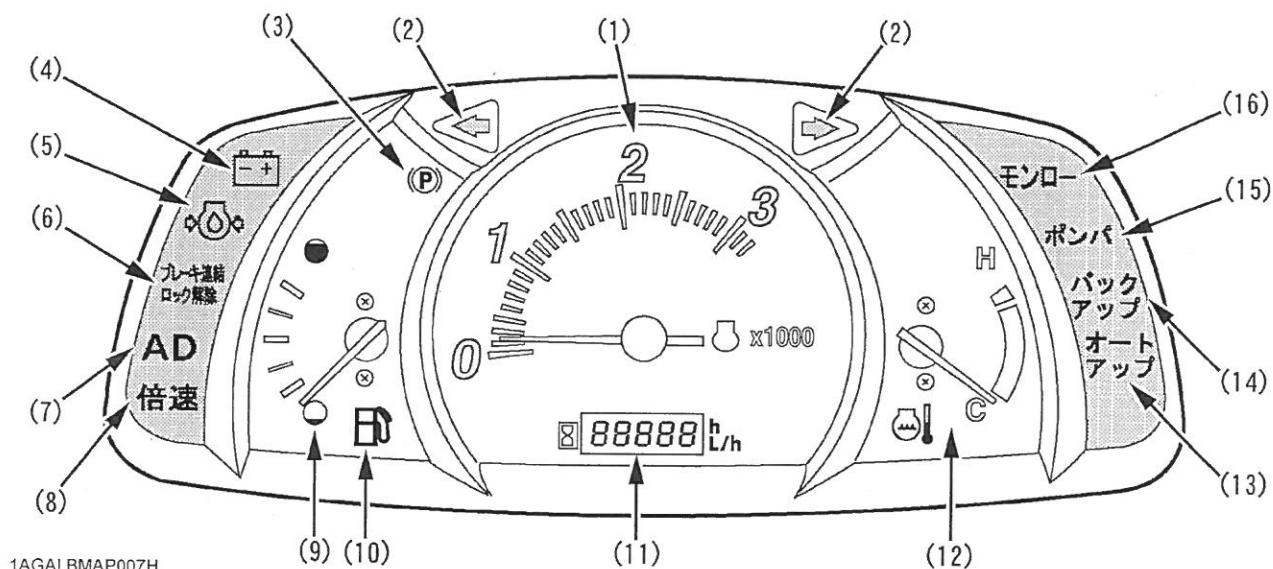
表示ラベルの手入れ

1. ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
もしラベルが汚れている場合は、石鹼水で洗い、やわらかい布で拭いてください。
2. 高圧洗浄機で洗車すると、高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
3. 破損や紛失したラベルは、製品購入先に注文し、新しいラベルに貼替えてください。
4. 新しいラベルを貼る場合は、貼付け面の汚れを完全に拭取り、乾いた後、元の位置に貼ってください。
5. ラベルが貼付けられている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。

メータパネルの取扱い

■メータパネル

メータパネルは、トラクタの運転に必要な各種情報をオペレータに提供します。



1AGALBMAP007H

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| (1) エンジン回転計…………… | (9) 燃料計…………… |
| (2) ウインカパイロットランプ…………… | (10) 給油お知らせランプ…………… |
| (3) 駐車ブレーキ警告灯…………… | (11) 電子アワーメータ…………… |
| (4) 充電異常警告灯 (チャージランプ) …… | (12) 水温計…………… |
| (5) エンジンオイル油圧警告灯…………… | (13) オートアップランプ【MA 仕様】…………… |
| (6) ブレーキ連結ロック解除警告灯…………… | (14) バックアップランプ【MA 仕様】…………… |
| (7) ADランプ…………… | (15) ポンプランプ 【MA 仕様】 …… |
| (8) 倍速ランプ…………… | (16) モンローランプ 【MA 仕様】 …… |

重 要

* フロント吹出口からの冷風がメータパネルに当たると、メータパネルが曇ることがあります。そのときは、フロント吹出口の向きを変えて、メータパネルに冷風が当たらない様にしてください。

【安全キャブ仕様】

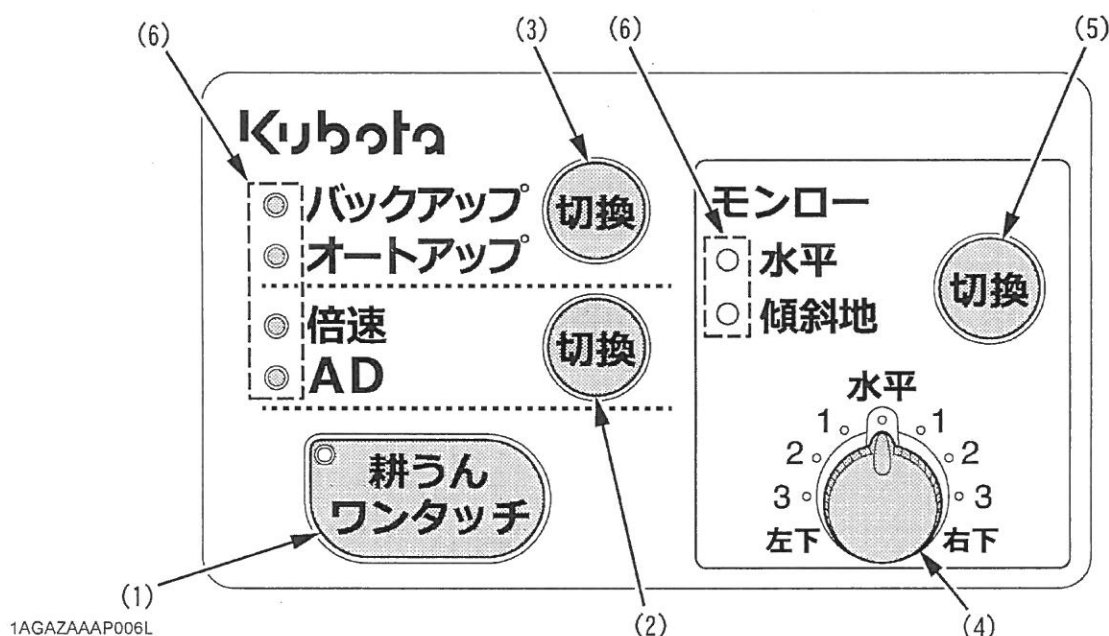
補 足

* メータパネルカバー（透明樹脂）を、市販のワックスで手入れすると表面が曇ってくる場合があります。ワックスは使用しないでください。

モンローマチックの取扱い

■各部の名称

各操作スイッチには、スイッチ上部を指先で軽く押すごとにモードが切り換わるタッチ式スイッチを用いています。また、スイッチでの選択状態を、メータパネル内のモニタランプと各スイッチランプで表示します。



(1) ワンタッチ耕うんスイッチ

(2) AD 倍速切替スイッチ

(3) バックアップ/オートアップ切替スイッチ

(4) 角度調節ダイヤル

(5) モンロー切替スイッチ

(6) スイッチランプ

バックアップ

シャトルレバーを後進に入れると自動的に作業機が上昇。

オートアップ

旋廻時、ステリングハンドルを回すと自動的に作業機が上昇。

倍速

旋廻時、前輪の切れ角がある一定以上になると、前輪の回転数が約2倍。

AD

旋廻時、前輪の切れ角がある一定以上になると、内側後輪に軽くブレーキ。

モンロー 水平

トラクター本体の傾きにかかわらず作業機は常に水平。

モンロー 傾斜地

傾斜地のある圃場で、作業機を圃場面と水平に保ちたい時に使用。

各変速レバーの取扱い

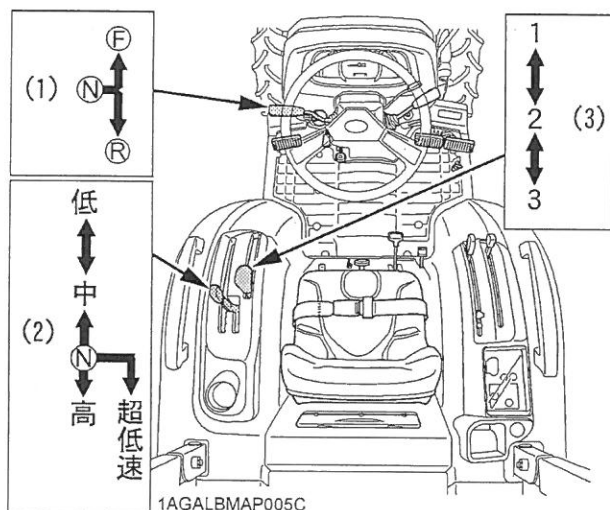
下記レバーを組合わせて各作業に適した速度にします。

- 主変速レバー
- 副変速レバー
- シャトルレバー

各作業に適した速度（目安）

作業名	速度 km/h
あぜ塗り	～ 0.6
ロータリ	0.5 ～ 3.0
代かき	2.9 ～ 4.1
プラウ	4.0 ～ 6.5
走行	10.0 ～

（【付表】の章の【走行速度表】の項を参照）



- (1) シャトルレバー
- Ⓕ 【前進】
 - Ⓖ 【中立】
 - Ⓖ 【後進】
- (2) 副変速レバー
- 低 【低速】
 - 中 【中速】
 - 高 【高速】
 - 超低速 【超低速】
- (3) 主変速レバー

3本のレバー操作を組合せることにより前進 12 段、後進 12 段の車速が得られます。

重要

- * 操作はクラッチを切り、トラクタが完全に停止してから行なってください。走行中に操作するとミッションの損傷につながります。

◆ シャトルレバー



警告

- * 急発進を避けるため、エンジン回転を下げたからシャトルレバーを操作してください。
- * 【前進】 ↔ 【後進】 のシフト操作は、いったん【中立】位置にして、トラクタの停止を確認してから操作してください。
- * 後進は前進とほぼ同じ速度が出ます。後進する場合は、周囲の状況が安全であることを確認してからシャトルレバーを【後進】位置に入れて、安全な速度で後進してください。また後進中は、特に周囲の状況をよく注意して運転してください。

レバーを持ち上げ、前に押して【前進】，手前（後）に引いて【後進】です。

◆ 主変速レバー

レバー 1 本で 3 段の車速が選択できます。

◆ 副変速レバー

【低】位置で低速，【中】位置で中速，【高】位置で高速が得られます。【超低速】位置では超低速速度が得られます。

PTO

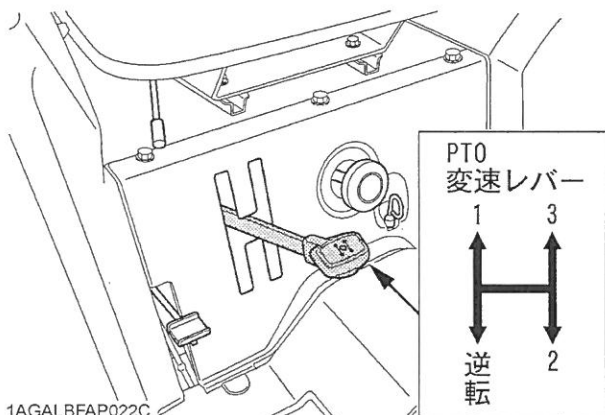
■ PTO 変速レバー



警告

- * 作業機に指定された PTO 回転速度を厳守してください。低速回転で使用するべき作業機を、高速回転で使用しないでください。

PTO 軸（動力取出し軸）の回転速度は、正転 3 段・逆転 1 段に変速できます。
変速操作は、必ずクラッチペダルをいっぱい踏込んでから行なってください。



◆ PTO 【逆転】 の使い方

1. 使用できる作業機
- * メーカー指定のロータリに限ります。

重要

- * メーカー指定以外のロータリ・インプルメントで使用すると、作業機の故障の原因になります。
2. 使用できる作業
- * 軟弱地での土寄せ作業
 - * 草やわらなどの巻きつきをほぐすとき

重要

- * 耕深調整は【切】にして油圧（ポジションコントロール）レバーで作業してください。（【作業のしかた】の章の【メカオートの取扱い】の項を参照）【MA 仕様】
3. 使用できない作業
- * 逆転耕うん作業
 - * 未耕地や石の多いほ場での土寄せ作業
 - * ロータリの爪を逆に取付けて行なう耕うん作業

状況に応じた操作

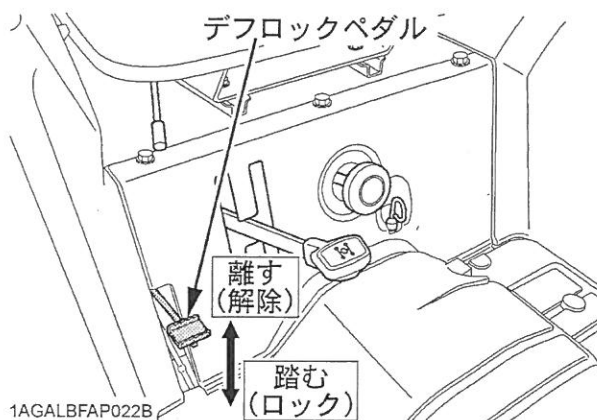
■デフロック

◆ デフロックペダル

左右の後輪が同じ回転速度で駆動される装置で、スリップ防止に効果があります。

ペダルを踏込む………ロックされる。

ペダルから足を離す……自動的に外れる。



◆デフロックの使い方



警告

- * デフロックを入れたままで旋回できません。旋回の前に必ず解除してください。
- * 道路走行時には絶対にデフロックを使用しないでください。ハンドル操作ができなくなります。

デフロックは、下記のような場合に役立ちます。

1. 農場への出入りやフロントローダ作業時など、片車輪がスリップして直進できないとき。
2. 農場の一部軟弱なところに片車輪が入り込み、スリップして走行がしにくくなったとき。
3. プラウ作業などけん引力を必要とする作業で、片側車輪がスリップしたとき。

重要

- * デフロックを入れるときは、エンジン回転を下げた後に行なってください。
- * 抜けにくいときは、ブレーキペダルを左右交互に軽く踏んでください。
- * 使用しないときは、足をペダルにのせないでください。

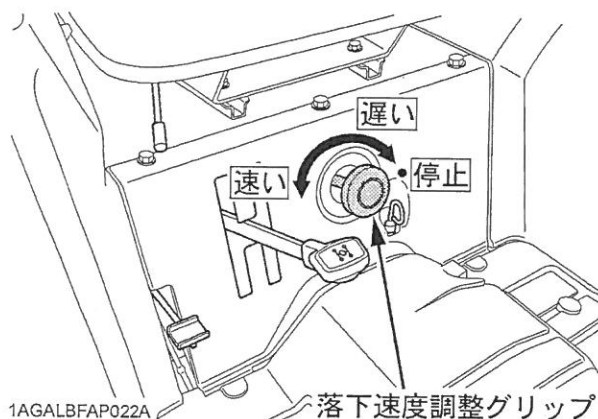
■作業機落下速度の調整



警告

- * ロータリなど作業機を点検する場合は、必ず落下速度調整グリップで、作業機が落下しないようにロック（停止）してください。
- * 落下速度調整グリップでロックした後、油圧レバーを「前方に倒して」、作業機が落下しないことを必ず確認してください。
- * 確認後、再度油圧レバーを上げておいてください。
- * ロックするとともに適切なジャッキ又はブロックで歯止めをし、落下防止を行なってください。

落下速度調整グリップを回すことにより作業機落下速度が調整できます。



【速い】方向に回す：

油圧回路が開き、作業機の落下速度が速くなります。

【遅い】方向に回す：

油圧回路が閉じ、作業機の落下速度が遅くなります。

（【停止】方向に一杯まで回すと、油圧がロック（停止）します。）

ロータリの落下速度は、上昇位置から接地するまで2～3秒が適当です。

重要

- * グリップは軽く回すだけで油圧がロックされますので無理に回さないでください。

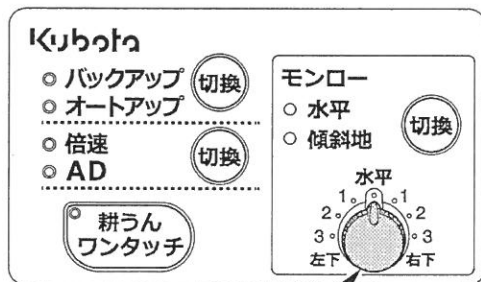
◆油圧ロックの取扱い

1. トラクタの格納は、作業機を降ろした状態で保管してください。
作業機を上げた状態で長時間保管すると、油圧ロックしていても下降することがあります。
2. 作業機を上げた状態で保管する場合は、次の要領で行なってください。
 - (1) エンジンをかけた状態で落下速度調整グリップを【停止】方向に回してください。
 - (2) 油圧レバーを前方に倒し、作業機が下がらないことを確認してください。
この操作を行うことで、油圧ロックの作動がより確実になります。
 - (3) エンジンを停止してください。
 - (4) 再度油圧レバーを上げてください。

■角度調節ダイヤル

【MA 仕様】

モンロー切替スイッチが【水平】及び【切】の場合、作業機の姿勢を調節するときに角度調節ダイヤルを使用します。



角度調節ダイヤル

1AGAZAAP006H

【水平選択時】

1. ダイアルを【水平】位置にすると、作業機は水平に保持されます。
2. ダイアルを【左下】方向に回すと、作業機は水平に対し左下りに保持されます。
3. ダイアルを【右下】方向に回すと、作業機は水平に対し右下りに保持されます。

【傾斜地選択時】

1. ダイアルを【水平】位置にすると、標準的なほ場で作業機をほ場表面と平行にします。
2. 条件により作業機がほ場と平行にならないときは、ダイアルを【左下・右下】に回し平行にします。

補 足

- * 【傾斜地】モードでは、角度調節ダイヤルを【左下】【右下】方向に回しても、わずかな量しか動きません。

【手動選択時】

1. ダイアルを【水平】位置にすると、作業機は本機と平行に保持されます。
2. ダイアルを【左下】方向に回すと、作業機は本機に対し左下りに保持されます。
3. ダイアルを【右下】方向に回すと、作業機は本機に対し右下りに保持されます。

メカオートの取扱い

後2輪を外したオート耕うん作業で、より一層の小まわり作業ができ、後2輪跡のないきれいな仕上がりが得られます。

なお、オート耕うんの仕上りは装着している作業機の調整によっても大きく変わります。トラクタと作業機の正しい取扱いですぐれた性能を発揮させてください。

■耕深調節レバー

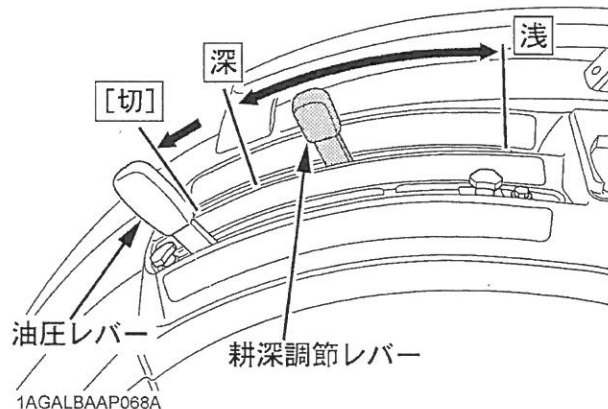
【MA 仕様】



- * 耕深調節レバーを【浅】側にするとロータリカバーの位置によっては、油圧レバーが下降位置であってもロータリが上昇している場合があります。
この状態でロータリカバーを動かすと、エンジンが停止時でも、ロータリが落下することがあります。
ロータリカバーを動かす場合は、耕深調節レバーを【切】にして、ロータリを接地させるか、油圧レバーでロータリを上昇させてから行なってください。

耕深調節レバーでオート耕うんの【切】及び【入】（耕うん深さの自動設定）が行なえます。

1. 耕深調節レバーを【浅】方向にすると、ロータリの耕深が浅く保持されます。
2. 耕深調節レバーを【深】方向にすると、ロータリの耕深が深く保持されます。
3. 耕深調節レバーを【切】にすると、オートが切となります。
4. ロータリの上げ下げは、ポンパレバー又は内側の油圧レバーで行ない、作業中油圧レバーは一番下においてください。



1AGALBAAP068A

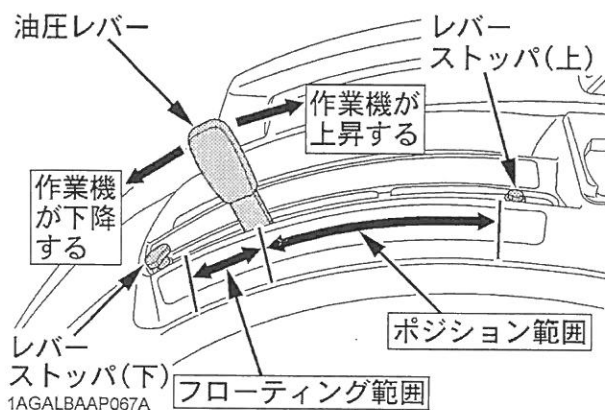
作業機昇降装置

油圧装置は、クラッチの断続に関係なくエンジン回転中は常に作動します。

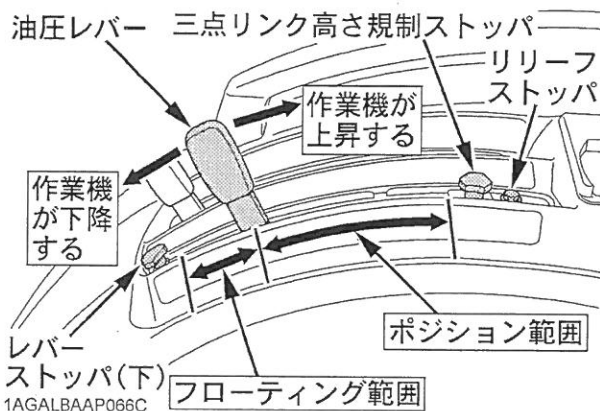
■油圧（ポジションコントロール）レバー

油圧レバーは、油圧によって作業機を上下させる装置です。

【MA なし仕様】



【MA 仕様】



	レバー位置	作業機	作業機の位置
ポ ジ シ ョ ン 範 囲	下げ方向に移動させる	下がる	この範囲では、作業機を任意の位置にセット・保持できます。
	上げ方向に移動させる	上がる	
フ ロー テ ィ ン グ 範 囲	下げ位置	下がる	この範囲では、作業機はいつまでも下がります。

◆ レバーストップ（上）の使い方

レバーストップ（上）は作業機の最上昇位置を規制したい場合のみ調整します。（標準位置は最後端部から約 20mm 前の段部）

1. 油圧レバーで、希望する最上昇位置を決めます。
2. その位置にレバーストップ（上）を固定します。

重 要

* レバーストップ（上）【MA なし仕様】、三点リンク高さ規制ストップ及びリリーフストップ【MA 仕様】は、外さないでください。外すと油圧システムに故障が生じるおそれがあります。

◆ 油圧レバーの取扱い特性

【MA 仕様】

エンジン停止後、油圧レバーを下げて作業機が下降しない場合は、キースイッチを【入】にして、油圧レバーをいったん最上位置にしてから、再度下げてください。

◆ レバーストップ（下）の使い方

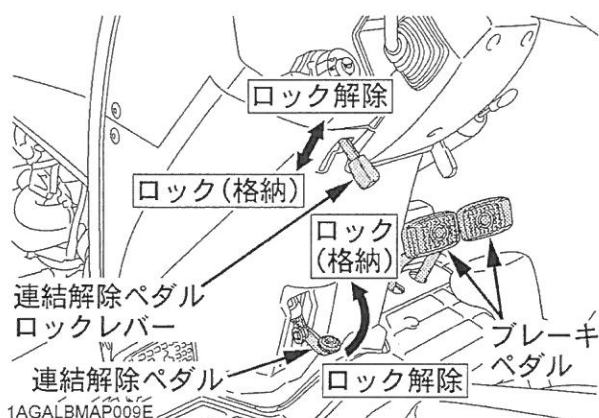
1. 油圧レバーで、希望する作業位置を決めます。
2. その位置にレバーストップを固定します。
3. その後は、油圧レバーをレバーストップに当たるまで動かすことにより、同一の作業位置が得られます。

■道路走行中の注意



警告

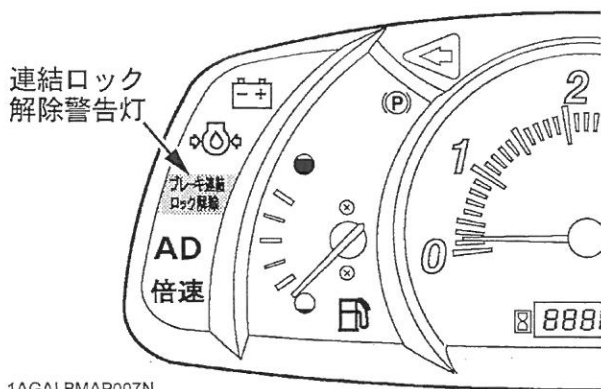
- * 道路を走行するときは、連結解除ペダルロックレバーを下げ、連結解除ペダルが踏めないことを確認してください。連結しないと、ブレーキが片ぎきになり、車体が急旋回して、転倒・転落・衝突などの事故を引起すおそれがあります。



◆ ブレーキ連結ロック解除ランプ

連結解除ペダルロックレバーを上げると【連結解除警告灯】が点灯します。

道路走行時などでは連結解除ペダルロックレバーを下げて、ブレーキ連結ロック解除ランプの消灯を確認してから、走行してください。



警告

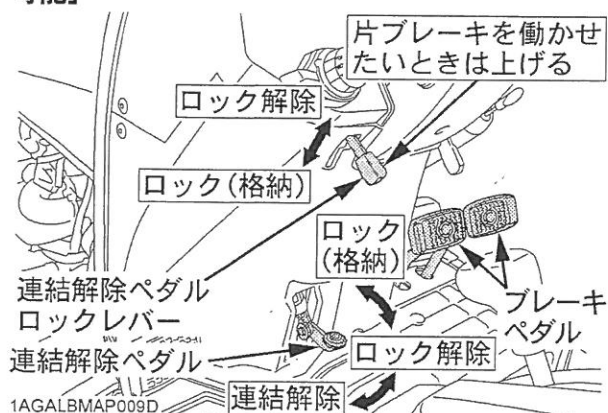
- * 道路を走行するときは、関係法規を守り安全運転をしてください。
- * 運転者のほかは乗せないようにしてください。転落事故の原因になります。
- * 溝のある農道や両側が傾斜している農道を通るときは、特に路肩に注意してください。
- * トラクタは、ロータリなどの作業機を装着して公道を走行できません。
【道路運送車両法の保安基準】
(作業機を装着して道路を走行すると、他の車・電柱又はガードレールなどにロータリを引掛けて、事故の原因になります。)
- * 道路走行時にはモンロー切替スイッチを必ず【切】にして走行してください。
- * ポンプランプの消灯を確認してください。
- * 信号待ちなどの一時停止時はブレーキペダルを踏んだままにしてください。

1. 公道走行中進路方向を変えるときは、方向指示器で進路方向を他の自動車に知らせてください。
2. 夜間走行中、対向車とすれちがうときは、ヘッドライトを下向き照射にし、対向車の妨害にならないように注意しましょう。
3. 踏切では、必ずいったん停止し、左右の確認をしてから、速やかに渡ってください。
4. 公道走行中は作業灯を消灯してください。
5. 公道走行中は、後続車に低速農耕車が走行していることを知らせる**低速車【SMV】マーク**を取付けてください。

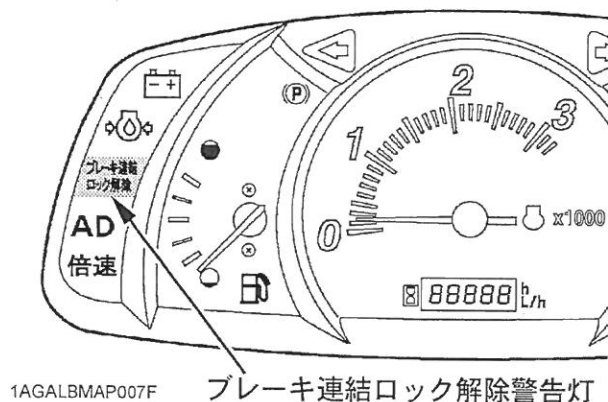
補足

- * 作業灯は【道路運送車両法の保安基準】第42条(灯火の色等の制限)において、**【走行中に使用しない灯火】**とされ、点灯したまま道路走行すると他の交通車両の妨害となることから道路走行中の点灯は禁止されております。

[連結解除ペダルを踏込めば、片ブレーキ操作が可能]



◆ 連結解除ペダルロックレバー解除時の警告灯
 連結解除ペダルロックレバーを上げると**ブレーキ連結ロック解除警告灯**が点灯します。
 道路走行時などでは連結解除ペダルロックレバーを下げて、連結解除ペダルロックレバー解除警告灯の消灯を確認してから、走行してください。



ブレーキ連結ロック解除警告灯

■クラッチペダル



警告

* 急にクラッチを離すと、急に飛出すおそれがあります。
 ゆっくり行なってください。

クラッチは、エンジンの動力を各作動部に断続する装置です。

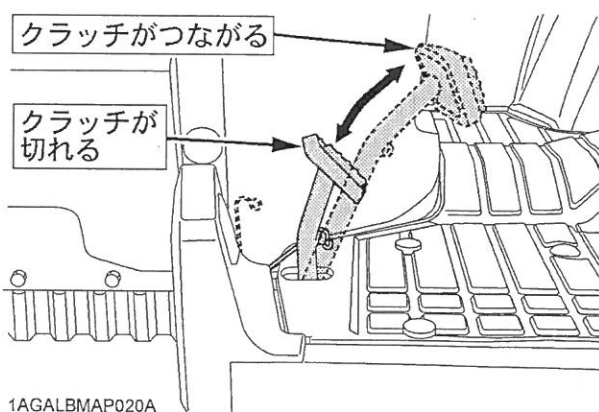
ペダルを踏込む……………クラッチが切れる。

ペダルから足を離す……………クラッチがつながる。

補 足

* 下記レバーを操作するときは、必ずクラッチペダルを踏みトラクタを完全に停止させてから行なってください。

- 主変速レバー
- シャトルレバー
- 副変速レバー
- PTO 変速レバー



重 要

* クラッチの寿命を伸ばすため、半クラッチの使用時間・回数を少なくするように、次の点にご注意ください。

- 速度調節はクラッチで行わないようにしてください。
- 作業に応じた車速及びエンジン回転を選択してください。
- クラッチペダルの上に足を乗せたまま運転しないでください。知らないうちに半クラッチを使用していることになります。

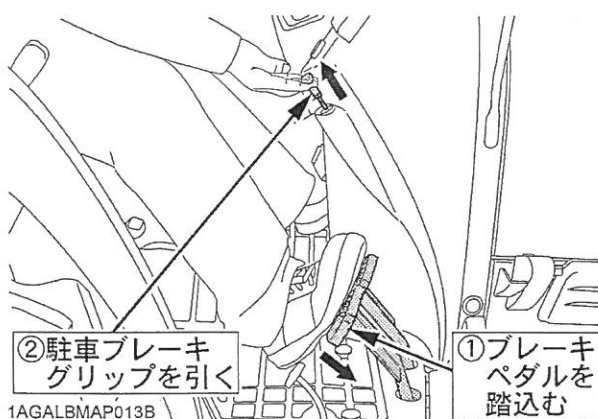
■停車・駐車



警告

- * 駐車するときは、平たんでトラクタが安定する場所を選び、各変速レバー（主変速・シャトル・PTO）を【中立】（N），作業機を【下げ】、駐車ブレーキを【掛け】、エンジンを【停止】してキーを【抜いて】ください。やむをえず坂道で駐車する場合は、タイヤに車止めをしてください。
- * 乾いた草やわらなど可燃物の堆積した場所には、駐車しないでください。
- * 格納などでトラクタにシートをかける場合は、マフラーやエンジンがじゅうぶん冷えてから行なってください。
- * トラクタから降りるときは、ロータリなどの PTO 作業機が完全に止まるまで待ってください。

1. アクセルレバーを前方に押して、エンジン回転をアイドリング状態にします。
2. クラッチ及びブレーキペダルを【踏み込み】ます。
3. 完全に停止してからシャトル及び PTO 変速レバーを【中立】（N）にします。
4. 作業機を取付けている場合は、油圧（ポジションコントロール）レバーをゆっくり【前方に倒し】作業機を下げます。
5. 駐車ブレーキを確実に【ロック】してください。



6. キースイッチを【切】にして、エンジンを停止します。

■ブレーキペダル



警告

- * 道路走行中・登り坂・下り坂及びあぜ越え中は、連結解除ペダルロックレバーを下げ、連結解除ペダルが踏めないことを確認してください。
道路走行中に片ブレーキを踏むと車体が振られ、転倒や交通事故のおそれがあります。

ブレーキは、強制的に機体を停止させる装置です。

本機の場合、一般車両と異なり、ブレーキペダルは左右それぞれ独立しています。連結解除ペダルを踏み込まないときは、左右のブレーキペダルは連結されており、左右両輪のブレーキが同時に働きます。

連結解除ペダルロックレバーを上げて、連結解除ペダルを踏んだときのみ、後輪の片輪だけにブレーキをかけることができます。

連結解除ペダルロックレバーを下げた状態

……道路走行時。

連結解除ペダルロックレバーを上げた状態

……農作業時。

【左右両輪のブレーキが同時に働く】



燃料給油時の便利な機能と装置

■満タンお知らせブザーの取扱い

燃料給油の際、満量に近づくとブザーが作動し作業者に知らせます。

1. キースイッチを【入】にします。
(エンジンは始動しないでください。)
2. 燃料を給油します。
3. 燃料給油を検知して「ピ…ピ…」と電子メータパネルから断続音が作動します。
4. 燃料が満タンに近づくとつれ、断続音の間隔が短くなり、満タンになると「ピー」という連続音に変わるので給油を停止してください。

補 足

- * 満量でのブザー作動は完全な満量に対し余裕を見ていますので、連続音作動のとき完全な満量にはなりません。

■カンタン給油台の使い方



警告

- * 燃料を給油するときはエンジンを必ず停止してください。
- * 火気厳禁。
- * 給油台の上に乗らないでください（積載可能重量 20kg）。
- * 給油台は燃料補給のタンクのせ台以外の目的で使用しないでください。
給油台をものの運搬などに使用しないでください。
- * 走行するときは給油台を折りたたんで確実に固定してください。

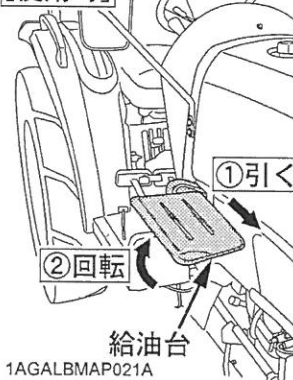
◆ カンタン給油台【使用時】

1. 給油台を矢印の方向に引くとロックが解除されます。
2. 給油台を矢印方向に回転させるとバネの作用でロックされるので、固定されたことを確認します。
3. 20kg までの給油用タンクをのせて、市販の給油ポンプなどを使って給油します。
4. 満タンお知らせブザーを使うと、満量をブザーで警告してくれるので便利です。

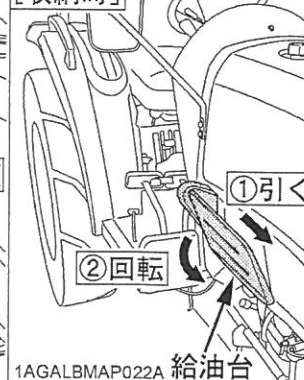
◆ カンタン給油台【収納時】

1. 給油台を矢印の方向に引き、ロックを解除します。
2. 給油台を矢印方向に回転させてもとの位置に戻します。ロックされたことを確認してください。

【使用時】



【収納時】

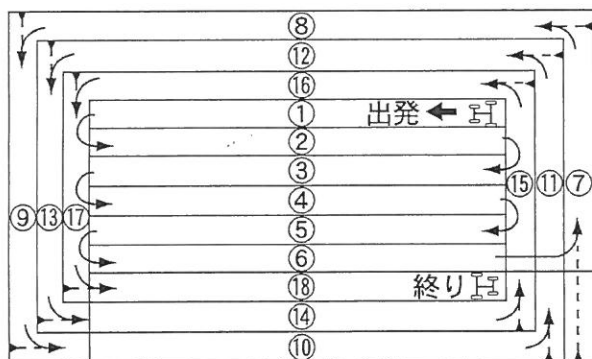


一般的な耕うん要領

■隣接耕うんのしかた

作業条件により、車速及びPTO回転速度を決めて耕うんを始めます。

1. 図の長方形部分1枚が、直進1回で耕うんされる耕作地を示しています。
2. 図のような順序をとるのは、1度耕うんしたところを後輪タイヤで押えないための最善の方法です。
3. 従って出発点は、トラクタが最後に外に出る場所によって決まります。
4. 直進が終って、次の直進に移るまでは、ロータリを上げて旋回します。
5. サイドドライブロータリは、サイドフレーム側があぜ際になるようにして、あぜ際耕うんを行ないます。



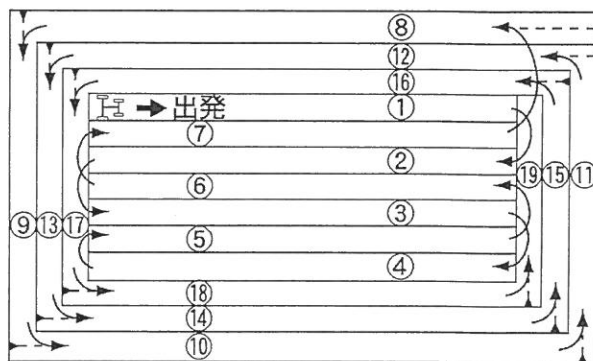
1AGACCBAP037A

補 足

* パワクロ仕様で小回りの難しい場所では、一うねおき耕うんで作業してください。

■一うねおき耕うんのしかた

一うねおき耕うんは、小回りの難しい場所に用いる方法で、その他は隣接耕うんと同じです。



1AGACCBAP038A

■トラクタの方向転換のしかた

